



## 第七回「平塚らいてう賞」 贈賞式のご案内

日本女子大学では、2011（平成23）年12月10日に第七回「平塚らいてう賞」の受賞者を発表いたしました。

つきましては、第七回「平塚らいてう賞」贈賞式を下記のとおり開催しますので、ご案内申し上げます。

—記—

【日 時】2012年2月18日(土)14:00～16:10（13:30より受付）

【場 所】日本女子大学 新泉山館 大会議室(目白キャンパス)

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

・JR山手線目白駅下車徒歩15分（目白駅よりバス5分）・東京メトロ有楽町線護国寺駅下車徒歩約10分

・東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅下車徒歩約8分

【贈賞式 式次第】

- 開会挨拶 選考委員長/日本女子大学学長 蟻川 芳子
- 講話 選考委員/平塚らいてうの記録映画を上映する会会長、日本女子大学名誉教授 中嶋 邦 氏
- 前年度<顕彰>受賞者による講演 成城大学兼任講師、早稲田大学非常勤講師 富田 裕子 氏
- 前年度<特別>受賞者による講演 東京国際女性映画祭 ディレクター 大竹 洋子 氏
- 前年度<奨励>受賞者による成果発表 神戸大学大学院人文学研究科研究員 南 コニー 氏  
～ 休憩 ～ (ティータイム)
- 今年度総評 選考委員/WILPF(婦人国際平和自由連盟)日本支部副会長、日本女子大学名誉教授 出淵 敬子 氏
- 第六回受賞者 賞状・副賞贈呈 顕彰1件 奨励1件 特別1件
- 受賞者紹介 スピーチ
- ご挨拶 選考委員/記録映画作家 羽田 澄子 氏

【定 員】 100名

【お申込み方法】 お名前・ご住所・ご所属・電話番号を明記の上、メール または ファクスにて、下記の事務局へ1月31日(火)までにお知らせください。なお、お電話でも承ります。

ホームページ: <http://www.jwu.ac.jp/st/grp/raiteu/>

以上

【この件に関する問い合わせ先(事務局)】

学校法人 日本女子大学 総務部広報渉外課 「平塚らいてう賞」事務局

Tel: 03-5981-3176 Fax: 03-5981-3164 メール: [raiteu@atlas.jwu.ac.jp](mailto:raiteu@atlas.jwu.ac.jp)



## 第七回「平塚らいてう賞」選考委員発表コメント

第七回受賞者の選考にあたり、私どもは、候補者の業績を広く、世界の女性のさらなる解放、問題の解決、平和問題や地域社会への公正な目配りと着実な行動の継続という観点から論議し、以下の諸業績に対して、「顕彰」に値するとの結論に達しました。ご業績の特色や褒賞に値する観点は下記の通りです。

### <顕彰>

受賞者： ジャン・バーズリー (Jan Bardsley) 氏  
(ノースカロライナ大学 チャペルヒル校 アジア研究学部 准教授)

研究テーマ： 平塚らいてう、青鞥、フェミニズム、現代文化、日米女性の交流

### <受賞理由>

平塚らいてう賞の創設以来、本年は第7回目になるが、第6回に続き英語で書かれた研究、平塚らいてうと「青鞥」についてのジャン・バーズリー氏の研究に「らいてう賞」を差し上げることに選考委員会で衆議一決した。平塚らいてうの作品が日本のみならず広く海外でも読まれ、研究されていることを証明するものであり、よろこばしいことである。

ジャン・バーズリー氏の代表作は *The Bluestockings of Japan, New Woman Essays and Fiction from Seito, 1911-16* (University of Michigan, Center for Japanese Studies, 2007) (『日本の「青鞥」：1911年から1916年までの「青鞥」の新しい女のエッセイとフィクション』) である。本書は1980年以来25年余りにわたる著者のらいてうと「青鞥」同人に関する綿密な調査・研究の成果であり、1989年カリフォルニア大学ロサンゼルス校に提出された博士論文を土台としている。バーズリー氏はらいてうとその周囲にいた「青鞥」の11人の女性たち(野上弥生子や与謝野晶子を含む)のプロフィールを紹介し詳しいコメントをつけたあと、11人すべての女性たちの際立った特徴を示す作品を英訳し載せている。これによって欧米の読者は、日本の初期フェミニズムがどのような歴史的、社会的背景のもとで生まれたかを著者の序文で知り、また実際の作品を通して彼女たちが感じ、悩み、考えていたことを知ることができる。たとえば、らいてうの有名な「元始 女性は太陽であった」というマニフェストを始め、タイトルをあげれば、「女性解放問題の解決」、「新しい女の道」、「人類の一員として男女は平等である」など、1910年代の5年間に「青鞥」同人たちが書いた言葉によってその主張が直接伝わってくるよう工夫され、著者のすぐれた選択眼がはたらいっている。英訳も比較的読みやすい。バーズリー氏の長年にわたるらいてうと「青鞥」の研究から生み出された本書は、らいてう賞にまさにふさわしい業績である。

以上